

本コラムのネタ探し よく聞くよな」。

に年始のニュースを眺めていたところ「2024年は1898年の統計開始以降、最も暑かった」との報道



ニッキン録・チ一夜

(814)

「100年に一度」 出したが、それはさておき。自分が金融機関に勤めた

年初の都市銀行破綻、2008年リーマン・ショック、2011年東日本大震災、2020年コロナパンデミック、2024年能登半島地震、等々。

しかも今年はアメリカの大統領交代。本コラム執筆中にも物議をかもす大統領令を乱発。世界は予測不能の混乱が始まつた感があります。

後も100年に

先の国会議員の発言

が目に留まりまし

た。「100年を超える観測史上初なら、去年の夏はそりや暑かつたはずやわ」。しかしここで、「んっ。100年に一度つて、最近

は多々あった事に改め思ひ返すだけでも……」

は、リーマン・ショックの際に「100年に一度級の経済混乱やらしさやないやろ」という、言い訳文脈で使われたと記憶していま

生するなら「100年に一度は稀な出来事ではない」と考え直した方が良いのでは。しかし今年はアメリカの大統領が交代。本コラム執筆中にも物議をかもす大統領令を乱発。世界は予測不能の混乱が始まつた感があります。

少なくとも今年も「杞憂」では終わらない何かが起こると想定し、気を引き締める時代になつていると感じた年頭です。

(大國主)